

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	笠間市家庭教育支援チーム (呼称: はっぴー子育て応援団 いばらき)
活動開始年度	平成24年度
活動拠点	笠間市立友部公民館
活動範囲	笠間市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (常陽銀行労働組合 助成金)
組織体制	<u>4</u> 人 筑波大学 小児科助教 医師 1人 筑波大学 医学医療系 准教授 1人 つくば国際大学 医療保健学部看護学科 准教授 1人 笠間市立病院 事務局長 1人
具体的な活動内容	1 教育プログラムによる実践的な指導を行う。 ・高校生や看護学生たちに子育てについての教育をする。 2 子育ての担い手を育てる。 ・子供を授かったお産前の新父母に子育てのコツを教える。 3 交流の場(コミュニティ)を提供する。 ・子育て中(3歳前後)の父母が気軽に集まり、相談できる場をつくる。 4 情報の共有とネットワークづくり ・子育ての一段落した父母が、子育て中の父母と交流したり、アドバイザーとして講座の指導者になったりできるような人的なネットワークをつくる。
活動を通して感じていること (成果、課題など)	成果としては、『トリプルP 前向き子育てプログラム』を受講した方から、「わかりやすく、具体的に子育ての方法論を学べて大変有意義でした。」「プログラムに参加して、子どもが親の言うことを守るようになった。すごいと思いました。」など、実際の子育てに役立っているという感想を得たことが挙げられる。 課題としては、組織体制の拡充と交流の場となる施設の確保などが考えられる。